

ハード交付金の活用事業

(沖縄県事業)

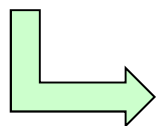
読谷中部地区 (農地整備事業)

本地区は、読谷村の中央にあり、SACO合意に基づき返還された旧軍用地である。土壌は、保水性の乏しい島尻マーヅで、サトウキビと紅いもを主体とした畑作地帯である。そのため、区画整理を行い、農地の集団化及び機械化農業を確立させることにより、営農の合理化、近代化を推進し、農業所得の安定向上を図る。

- 総事業費 13億円 (うち国費10億円)
うちハード交付金 9億円 (うち国費7億円)
- 事業期間：平成20年度から平成29年度



施工前



施工後イメージ



北振地区 (水利施設整備事業)

本地区は北大東村にあり、恒常的な干ばつ被害により、農作物生産に多大な影響を及ぼし、その改善が緊急な課題となっている。そのため、かんがい施設を整備することにより、農作物の安定した生産による生産性向上と、地域特性を生かした農業経営に寄与することを目的とする。

- 総事業費 30億円 (うち国費24億円)
うちハード交付金 22億円 (うち国費18億円)
- 事業期間：平成20年度から平成31年度



・貯水地により水源を整備し、良質な水を安定供給することにより農業経営向上に寄与する。

ハード交付金の活用事業

(沖縄県事業)

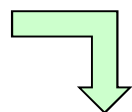
みやらがわ第6地区 (農地防災事業)

本地区は、石垣島の海に面した場所に位置し、度重なる台風被害等により農作物生産に多大な影響を及ぼしており、その改善が緊急な課題となっている。そのため、防風施設等を整備することにより、農業生産性及び所得の向上と安定化に寄与することを目的とする。

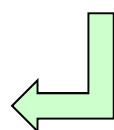
- 総事業費 5億円 (うち国費4億円)
- 事業期間：平成26年度から平成35年度



着工前



完成

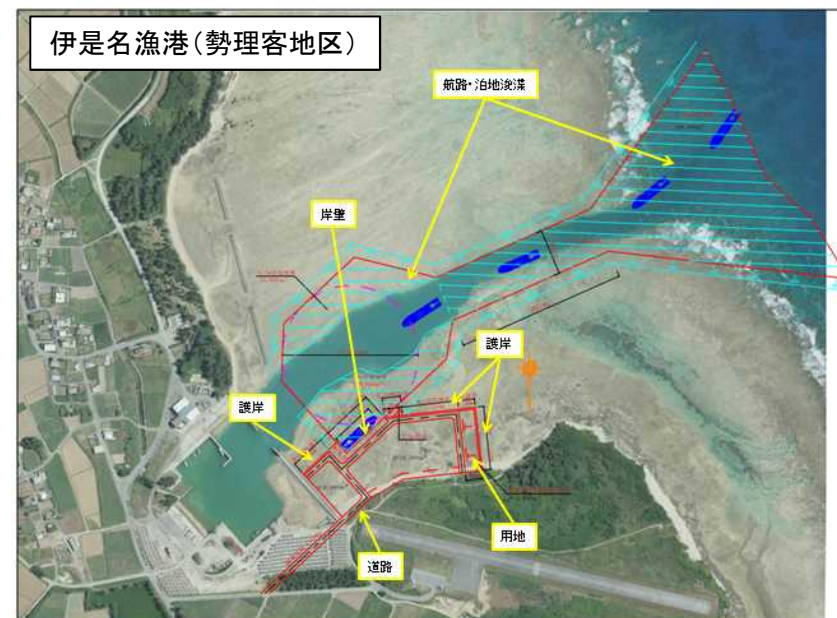


成育後イメージ

伊是名地区 (地域水産物供給基盤整備事業)

沖縄本島の運天港と伊是名島の仲田港を結ぶ定期フェリーは、台風の余波や冬期風浪の影響により、欠航率が高いため、島の反対側にある伊是名漁港に補完バース等を整備し、就航率の改善を図る。併せて物揚場等の漁港施設の整備を行い、漁業就業者の就労環境改善を図る。

- 総事業費 19.9億円 (うち国費17.9億円)
- 事業期間：平成28年度から平成32年度
- B/C：1.33



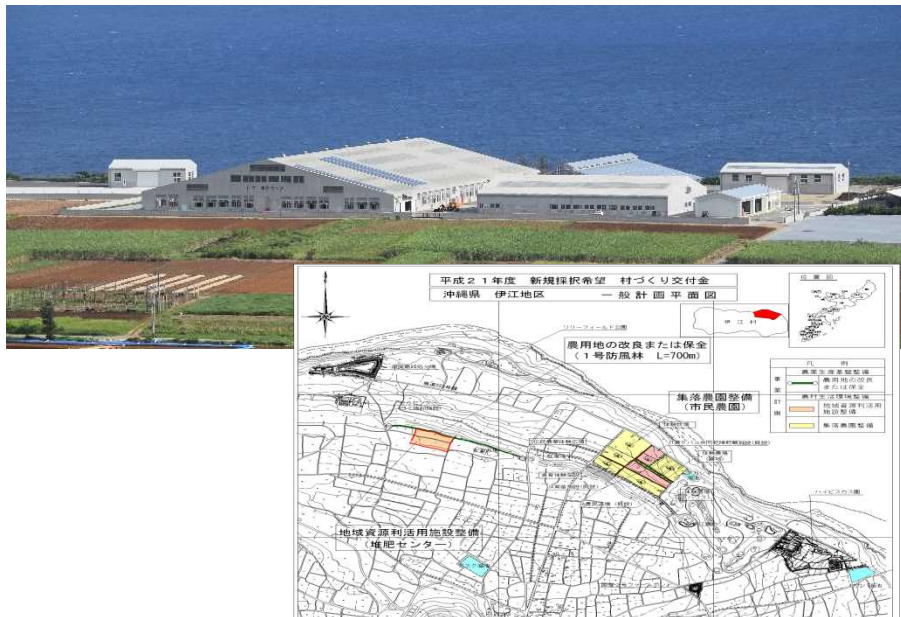
ハード交付金の活用事業

(市町村事業(北部圏域))

伊江地区（伊江村） （集落基盤整備事業）

本地区では、家畜ふん尿による地下水等の水質悪化が懸念され、家畜ふん尿の堆肥化や堆肥投入による土づくり等の水質保全対策が急務であり、本事業を行うことにより、環境保全型農業推進に不可欠な「堆肥センター」を整備することによって水質保全を図る。

- 総事業費 16.8億円（うち国費11.7億円）
うちハード交付金 9.3億円（うち国費6.5億円）
- 事業期間：平成21年度から平成26年度



伊平屋地区 （漁村再生交付金事業）

伊平屋村の伊平屋漁港では、台風等荒天時において港内静穏度を確保することができず、漁船の係留に支障をきたしているため、突堤等の整備を行い、港内静穏度の向上を図る。

また、同村田名漁港で、漁船の安全航行を確保するため、航路の改良などを行う。

- 総事業費 11.2億円（うち国費8.4億円）
- 事業期間：平成26年度から平成30年度まで
- B/C : 1.16



ハード交付金の活用事業

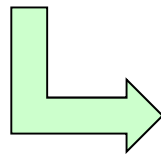
(市町村事業(中部圏域))

石川前田地区（うるま市） （農業基盤整備促進事業）

本地区は花卉およびサトウキビを主体とした畑作地帯である。近年の豪雨により法面部が崩壊し、農用地への土砂堆積や、排水路閉塞による湛水被害が発生した。

法面の土砂崩壊防止工事を行うことで安全対策の向上とともに、安定した農作物の増収や高収入作物生産を促進して農業経営の向上を図る。

- 総事業費 1.2億円（うち国費1.0億円）
- 事業期間：平成27年度から平成28年度まで



山城地区（うるま市） （農地防災事業）

本地区では、近年の豪雨による浸食により農道の一部において斜面土砂が崩壊しており、今後も崩壊が進めば農作物や農業資材の輸送への影響などの被害が想定される。

そこで、本事業にて当該道路の機能保全対策向上を図り、安定した農作物の生産による増収や高収益作物を促進し、農業経営の向上を図る。

- 総事業費 0.44億円（うち国費0.35億円）
- 事業期間：平成24年度から平成26年度



【整備前】



【整備後】

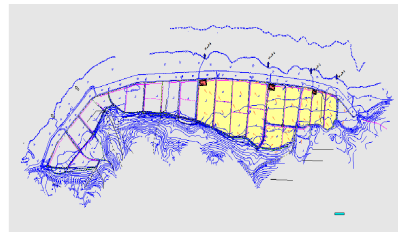
ハード交付金の活用事業

(市町村事業(南部圏域))

比屋定地区 (久米島町) (水質保全対策事業)

本地区は農地からの耕土流出が多く見られ、末端海岸への赤土流出の汚染原因にもなっているため、排水路及び沈砂池等を整備することにより、農地からの赤土流出を防止するとともに下流域の海岸環境の保全が図られる。

- 総事業費 2億円 (うち国費1.5億円)
- 事業期間：平成27年度から平成31年度



対策前は流出した耕土が海まで流出していたが



数日後



流出した地表水を沈砂池でキャッチし、耕土を沈砂池内で沈降させる

渡名喜地区 (漁村再生交付金事業)

渡名喜村集落は狭小地に立地しているため、村の行事や来島者との交流の場として活用できる広場の確保が困難な状態であった。活気ある漁村の再生を図るため、多目的広場等の整備を行った。また、集落内の夜間通行の安全性を確保するため、景観配慮型の防犯灯を整備した。

- 総事業費 8.2億円 (うち国費6.2億円)
うちハード交付金 4.0億円 (うち国費3.0億円)
- 事業期間：平成20年度から平成27年度
- B/C：1.25



ハード交付金の活用事業

(市町村事業(宮古圏域))

宮古第一地区（宮古島市） （農業基盤整備促進事業）

本地区はサトウキビ、葉たばこ、マンゴー等の作付が行われている畑作地帯である。また、国営宮古地区の関連事業地区に位置付けられている。

農作業道の舗装や排水路等を整備することにより、農業生産及び農業所得の向上を図り、地域の特性を生かした農業経営に寄与することを目的とする。

- 総事業費 6.2億円（うち国費5.0億円）
- 事業期間：平成26年度から平成28年度まで

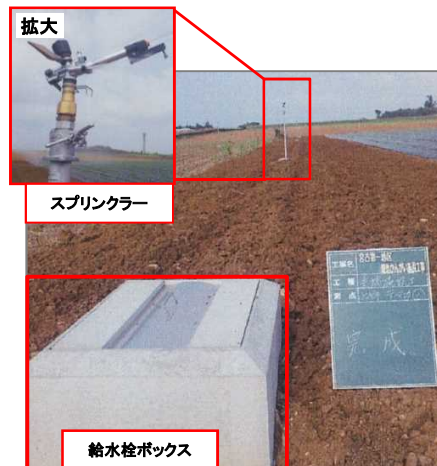
棚根地区（宮古島市） （農地防災事業）

本地区は、宮古島市の旧下地町南西部に位置し、団体営土地改良総合整備事業で整備された地区であるが、約30年前に植栽した樹木の老木化、度重なる台風や塩害等で地区内の防風林が被害を受けている。

そこで、本事業を導入し防風林の再整備を行い、農業の生産性向上を図る。

- 総事業費 1.9億円（うち国費1.5億円）
- 事業期間：平成24年度から平成27年度

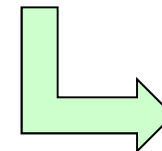
【給水管 整備】



【農作業道 舗装】



【整備前】



【整備後】



ハード交付金の活用事業

(市町村事業(八重山圏域))

石垣東部地区（石垣市） （農業集落排水事業）

本地区の生活雑排水は農業集落内排水路に放流され、周辺海域に負担をかけている状況であるため、本事業を行うことにより、農村生活環境の改善を図り、公共用水域の水質保全に寄与する。

主要工事：管路施設、処理施設 一式

- 総事業費 25億円（うち国費19億円）
うちハード交付金 7億円（うち国費5億円）
- 事業期間：平成19年度から平成26年度



石垣第2地区（石垣市） （農業基盤整備促進事業）

本地区は、基幹作物であるさとうきび、パインアップルの他、水稻、野菜・花卉類などの重点品目が沖縄県農林水産戦略品目拠点産地の認定を受ける平地農業地域である。そこで、担い手への農地集積の加速化や生産効率の向上、農業の高付加価値化の推進等を図るため、営農環境（農道整備、排水路整備）の改善に取り組む。

- 総事業費 2.7億円（うち国費2.1億円）
- 事業期間：平成26年度から平成28年度まで

